



平成 27 年 2 月 6 日

各 位

上 場 会 社 名 日本社宅サービス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 笹 晃弘
(コード番号 8945 マザーズ)
問 合 せ 先 常務取締役 竹村 清紀
(TEL 03-5229-8700)

業績予想値と決算値との差異に関するお知らせ

平成 26 年 8 月 12 日に公表した平成 27 年 6 月期第 2 四半期（累計）の業績予想と、本日公表しました第 2 四半期決算短信の数値を比較したところ、下記の通り差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 6 月期第 2 四半期業績予想数値と決算数値における実績値との差異 (平成 26 年 7 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日)

【連結】

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,303	253	261	157	38.60
実績値(B)	3,133	267	274	170	41.21
増減額(B-A)	△170	13	13	13	
増減率(%)	△5.1	5.4	5.0	8.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年6月期第2四半期)	3,100	269	276	162	40.69

【個別】

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,654	194	116	28.67
実績値(B)	1,549	254	159	38.56
増減額(B-A)	△105	59	42	
増減率(%)	△6.4	30.7	36.4	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年6月期第2四半期)	1,525	213	127	31.95

2. 差異が生じた理由

当第 2 四半期累計期間の社宅管理事務代行事業における業績は、大手企業の業績回復等を背景にアウトソーシングを検討する企業は増加傾向にあり、受託件数は順調に増加しました。しかしながら、中長期的な経営戦略のもと、新たに計画した新分野のサービスの受注が若干ずれ込んでいることから、売上高は予想値を下回りました。一方、利益につきましては、計画人員の確保が適わなかったことによる人件費の下ぶれと一部下期への費用の時期ずれが起因し、上期の利益計画を大幅に上回る結果となりました。

また、施設総合管理事業では、マンション管理の新規受注が進んだことから主力となる管理収入は堅調に推移したものの、附帯する修繕工事関連の売上の一部が下期にずれ込むなどの影響から上期の売上・利益計画を下回りました。

なお、現時点における通期（平成 27 年 6 月期）の業績予想につきましては、平成 26 年 8 月 12 日発表の「平成 26 年 6 月期決算短信（連結）」で公表した通期の業績予想値に変更はありません。

以上